



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
上尾市大字上1774-7
048(776)0575
fukayama-sov@jcom.home.ne.jp
ホームページは検索サイト
”深山たかし”で閲覧できます。

議会レポート

財政問題について

財政状況について

千葉県富津市では十五年度決算で実質収支が赤字となり、十八年度には「破綻状態」と判断される財政再生団体に転落する見通しであると明らかにした。

上尾市も対岸の火事では済まされないのではないかと、の思いから質問しました。

●答弁要旨●

地方公共団体は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を算定し、これらの指標のいずれかが早期健全化基準以上である場合に

は「財政健全化計画」を策定することとなり、さらに指標が悪化し財政再生基準を上回った場合には、いわゆる財政再生団体となり、「財政再生計画」を策定して健全化に努めることとなります。

この財政再生計画では、大幅な歳出削減や市債の発行制限などを国の同意のもと策定し、計画の実施状況によっては国からさらに勧告を受けることもあります。

このため事実上の財政破綻状態といえ、全国で唯一北海道夕張市が策定しています。

本市は、早期健全化基準を大きく下回っており指標上は健全な団体といえますが、今後の人口減少・少子

高齢社会において市税収入の減少や社会保障関係経費のさらなる増加が見込まれるほか、資産更新問題などの諸課題もあり、そのためも財政規律を守っていく必要があります。

財政規律とは、歳入と歳出のバランスを考え、秩序正しく財政運営するための規律で、本市では本年三月に「上尾市財政規律ガイドライン」を策定し、自主財源の積極的な確保、所期の目的や効果等を踏まえた事業の見直し、市債残高の抑制などを定め、このガイドラインに基づき持続可能な財政運営に努めています。

●資金不足は年度末から年度当初にかけてです。

今年度の一般会計・特別会計の合計値で月末の状況を申し上げれば四月に二十六億円、五月に十一億円不足、前年度一月が十六億円、三月が三億円不足していました。

その理由は、年度当初は税の納期との関係から税収

が少なかったため。また、まとまった支出として十二月から三月は期末勤労手当や大きな工事費、市債の償還金等の支払などがあり、収入では市債の借入時期が三月末や出納閉鎖期の五月末と遅くなることからです。

今年度は基金の繰替え運用は四月に三十七億円、年度間運用は四月に三億円、会計間運用は五月に一般会計から国民健康保険特別会計に二十四億円、公共下水道事業特別会計に一億円、後期高齢者医療特別会計に五千万円行っています。また、一時借入金は平成二十六年三月三十一日から翌日の四月一日まで十六億円を借り入れています。

このように年度末から年度当初にかけてはかなりの資金が不足しますので、基金や歳計現金の十億円以上のまとまった額の大口定期預金や譲渡性預金による資金運用は難しい状況にあります。

小型家電回収ボックス

携帯電話や古くなったパソコンなどの処分についているご家庭が多いと思えます。上尾市でも「小型家電リサイクルボックス」を設置してありますが、市民に周知されていないと考えると質問しました。



本庁舎に設置してある回収ボックス

●資源が少ない日本にとって希少金属はほとんど輸入に頼っているのが現状です。上尾市においても、一般廃棄物処理計画の柱となっているごみの減量化と、資源の有効活用と、それに伴う処理経費の削減を図るため

の一つの方策として国が公募していた市町村提案型の「小型家電リサイクルシステム構築実証事業」に応募することを決定しました。

本市の実証事業は、平成二十五年五月に申請し、六月に埼玉県でも一番早い時期に上尾市を含め三市が実証事業として採択され事業対象地域に指定されました。

本実証事業は、平成二十六年一月から、市役所、各支所、出張所及び西貝塚環境センターの計九か所に専用回収ボックスを設置し、拠点回収を開始しました。

●回収対象品は、三十cm×十五cmの回収ボックス投入口に入るデジカメ、携帯電話、ゲーム機、DVDプレーヤーなどの小型家電製品です。

●その他に市民が西貝塚環境センターに直接持ち込む金属ごみの中から、回収ボックスに入らないステレオや電子レンジなどの大きい機器も小型家電としてリサイクルしています。

芝生の代わりにクラピアを植栽してはどうか

芝生の代替植物として埼玉県庁も採用している「クラピア」(イワダレソウの品種改良)を植栽してはどうか？

●現在、上尾丸山公園及び上平公園内には芝生広場があり、公園利用者に親しまれております。

また、平成二十五年度には上尾丸山公園内の芝生広場の一部で、剥がれた芝生の改修工事を行いました。

一方、指摘のありましたクラピア(イワダレソウ)ですが、芝生に替わる新しい植物と聞いております。埼玉県に確認したところ、

●この他に市民が西貝塚環境センターに直接持ち込む金属ごみの中から、回収ボックスに入らないステレオや電子レンジなどの大きい機器も小型家電としてリサイクルしています。

草防止などに効果があるとありますので、公園の芝生の代替品として使用することについて、今後、調査、研究をしていきたい。

クラピアの特徴

- 増殖スピードが速く、芝の約十倍の速度で広がります。
- 草刈りの手間が減ります。(横へ伸び、草丈が低いため、刈込み作業が少なくて済みます。)
- 地表面を緻密に覆います。(被覆密度が高く、雑草の侵入を抑えることができます。)
- 人が踏んでも大丈夫です。(人が立入る所でも植栽可能です。踏まれると更に緻密に繁茂します。)
- 可憐な花が咲きます。 ※冬枯れますが、翌春には緑の状態に戻ります。



組織再編の効果とは

二十五年ぶりに市役所の組織を再編したがその効果は何か

●組織再編の効果としましては、各種証明書が必要とする市民の方の利便性を向上させたこと、新設の子ども未来部に子ども・若者相談センター、子育て支援センター、発達支援相談センター及び少年愛護センターを設置して子育て相談窓口を充実させたこと、上下水道部の設置等、組織の合理化により事務効率の向上を図ったことなどが挙げられます。

また、組織再編に合わせて事務分掌の見直しと、窓口や事務スペースのレイアウトの改修を行い、市民サービスの向上を図ったところ。 今後時代要請に柔軟に対応できる市役所となるべく努めていきます。